

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

民政クラブ

代表者名

加藤学

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動報告書

令和 6年 5月 9日提出

活動年月日	令和 6年 4月 15日 (月) ~ 令和 6年 4月 17日 (水)	
氏名	三宅健司、井町圭孝、佐藤哲朗	
用務先 及び 内 容	1	用務先 山梨県南アルプス市
	4月 15日	内 容 南アルプスクラインガルテンについて
	2	用務先 東京都八王子市
	4月 16日	内 容 家庭分野の地球温暖化防止施策について
	3	用務先 神奈川県横須賀市
	4月 17日	内 容 メタバースの活用について
	4	用務先
	月 日	内 容
備 考		

視 察 者	三宅健司、井町圭孝、佐藤哲朗
視 察 日 時	令和6年4月15日(月)13時30分~15時00分
視 察 先・概 要	山梨県南アルプス市 ・人口:70,068人 ・世帯数:29,290世帯 ・面積:264.14km ² ・人口密度:265.27人/km ² ・南アルプス市は甲府盆地西側の南アルプス山麓に位置し、冬は寒さが厳しく、夏は気温が高い内陸性気候で、御勅使川扇状地やそれに続く定置では果樹栽培が盛んに営まれている
視 察 内 容	南アルプスクラインガルテンについて
選 定 理 由 (目 的)	南アルプス市では、耕作放棄地を活用して「会員制滞在型市民農園」のクラインガルテンを行政と住民が一体となって運営し、高い人気を得ている。農地の有効活用や地域の活性化にも繋げている効果的な取組として、選定した。
岡崎市の現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの課題を抱えている。
視 察 概 要	<p>1. クラインガルテンの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域の遊休農地や耕作放棄地を解消するため、平成19年度に農林水産省の「元気な地域づくり交付金」を受け、平成22年度までの4年間で整備した。 ● 整備面積は中野地区が約3ha(22区画)、湯沢地区は約2ha(15区画)の合計5ha。 ● 滞在型区画は約500m²に、トイレ・キッチン・バス付オール電化仕様の簡易宿泊施設(約47m²)を設置している。 ● 日帰り型区画は約25m²で21区画がある。 ● 敷地は令和9年3月までの20年間の借地であり、遊休農地や耕作放棄地の解消を目的としているため、果樹などの立木補償は実施していない。また、市民農園法による事業であり、農地のまま整備した。 ● 区画の整備、簡易宿泊施設の建設は市で実施して、事業を開始している。 <p>クラインガルテン区画 ラウベ(滞在施設)と菜園のご利用イメージ</p>  <p>2. 入会金・年間使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 滞在型区画の入会金は411,420円で契約締結後一括払いとしており、敷金に相当する。 ● 滞在型区画の年間使用料は411,420円で年2回の分割払いとしている。 ● 日帰り型区画の年間使用料は410円/m²(25m²で10,250円)。 ● 利用は最長5年間としており、途中解約の場合は入会金、年間使用料は返還していない。 <p>3. 管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業開始当初はコンサルにて運営していたが、事務的であり地域との一体感に繋げることができなかつたため、平成26年より指定管理者として、地元農家を中心に構成した「NPO 田舎ぐらしの郷南アルプス」が運営している。 ● 指定管理料は年間使用料から土地賃借料を差し引いた額としており、人件費、消耗品、光熱水費、施設維持費に充てている。 ● 土地賃借料は地権者へ、指定管理料は地元農家を中心としたNPOに行くこととなり、事業の収入は地元へ還元している。 ● 利用者は農業経験がないケースもあるが、NPOが農業指導を実施している。 ● 事業開始当初は利用者が集まらず苦労したが、テレビで南アルプスクラインガルテンが紹介されたことを受けて応募が増え、現在は満員の状態。1区画が空いた際の募集には19組が応募するほどの人気となっている。

4. イベント等

- 3大イベントとして、開園祭、夕涼み会、収穫祭(ガルテナー主催)を開催している。
- 地域行事として、盆踊り大会、防災訓練、地域の運動会、どんど焼きなどを管理スタッフが誘いガルテナーが参加している。
- ガルテナーが自主的にクラブ活動を実施しており、味噌クラブ、そばクラブ、棚田クラブがある。
- 農業講習会を年間4回程度開催している。(講師は農協の営農指導員)

【主な質疑応答】

Q:地権者との賃借契約を20年間とした理由について伺います。

A:短いと契約してもらえず、長いと相続にも影響することから、近隣での農地の賃借の事例のある20年とした。

Q:耕作放棄地だった場所での事業とのことですが、事業区域でも営農されていた区画もあったと思うが、地権者とはスムーズに合意形成できたのか伺います。

A:一部営農されていた区画もあったことや地権者それぞれの考え方の違いもあり、調整には苦労した。丁寧な説明を重ねて合意に至った。

Q:空区画がないほどの人気となった要因について伺います。

A:地理的要素として、首都圏には「定年退職したら農業をしたい」と考えている方を大勢抱えており、2-3時間で来られる距離という好立地があって、そこにテレビでの放映を受けて、応募に繋がったと受け止めている。また、中部横断道の開通により、静岡からの申し込みもあった。

Q:指定管理者となったNPOの方々の活動状況について伺います。

A:地元の地権者や農家を中心に構成しており、施設の管理はもちろんのこと、ガルテナーの希望する作物の農業指導も行っている。また、ガルテナーが忙しくて来られない時には草刈り等も実施している。地域が一体となってサポートできていることに加えて、指定管理料も地域に行くことになるので、効果的な活動となっている。また、ガルテナーからも高い評価をいただいている。

Q:実った作物は自家消費されているのか伺います。

A:作物は自家消費以上にできているが、市民農園法に基づいた事業であり、販売ができないので、ご近所や親戚縁者に配ったり、こども食堂へ寄付したりしている。

Q:山梨県のイメージとして果樹を栽培したいという人もいますが、どう対応しているのか伺います。

A:5年で更地にして返却いただくことになっており果樹は栽培できないので、世話役の農地を活用してもらっている。



本市への反映
(意見・課題など)

【三宅健司】

甲府盆地の西側、南アルプス山麓に位置し、美しい自然に恵まれた条件を十二分に活かした事業であると感じた。クラインガルテンの契約者は、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・静岡県・長野市と県外の方がほとんどで、定年を機に本事業に参加していることから豊かな環境のもと野菜づくりを楽しみたいという潜在的な要望を見事に捉えている。また、初心者に安心してもらえるように地元農家さんたちから直接教えていただける仕組みは見習うべきである。さらに利用者同士の交流を年間を通じて行っていることも本事業が円滑に行われている要因と考える。

事業継続のためにも児童生徒の参加や障がい者さんたちとの農福連携、子ども食堂への作物の提供などさまざまな分野との連携も必要ではないかと考える。

【井町圭孝】

耕作放棄地の解消を目的に、クラインガルテン事業を開始。景観に恵まれ、魅力的な土地を上手に使っていると感じた。上手にというのも、区画の中に倉庫(野菜の保管や道具の保管がメインだが宿泊も可能)を設けている点や、管理するNPO法人の手厚いサポートである『お世話役』が各区画についており、相談しながら野菜作りができる点は、初心者でも安心して参画できるものと考えた。

契約の最長は5年とのことであるが、この事業への参画をきっかけに、南アルプス市に移住しようと思う魅力は十分にあると感じるし、空き家対策とマッチングすることで、さらに移住しやすくなると感じた。

事業開始当初は、その魅力が伝わらず人気が無かったとのことであるが、人生の楽園というTV放映をきっかけに人気が出て来たとのこと。魅力を伝える手段も重要であると改めて感じた。

【佐藤哲朗】

南アルプスクラインガルテンは耕作放棄地の解消を目的として開始し、地権者を始めとする地域にお住まいの方々がNPOとして指定管理者として運営、サポートを担っており、ガルテナーと地域住民が一体となった事業であり、大変有効な事業と感じた。テレビ放映によって認知されたことがきっかけとはなったが、南アルプス市は首都圏からの距離も近く移動が簡単なことや受け入れ側のサポートが充実していたことが、人気の要因と考えられる。

本市においても、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等課題を抱えており、クラインガルテンの導入は検討する価値はある。加えて、滞在用の住居として、空き家の活用も視野に入れての検討を提言していきたい。



● 政務活動視察報告書 (No.526)

委員会・会派名	三宅健司、井町圭孝、佐藤哲朗		報告：三宅健司																																																						
視察日時	令和6年4月16日(火) 10時00分～11時30分																																																								
視察先・概要	東京都八王子市 人口 561,034 人、面積 186.38 km ² 、世帯数 279,815 世帯 市制施行 大正 16 年 9 月 1 日、市の由来 牛頭天王と8人の王子をまつり、八王子権現と称したのが“八王子”という名のおこりという伝説がある。																																																								
視察内容	家庭分野の地球温暖化防止施策について																																																								
選定理由(目的)	地球温暖化対策の補助制度のメニューを新しい観点から取り入れており、本市の制度検討に際し参考にしたい。																																																								
岡崎市の現状と課題	新年度では「省エネ・創エネ・蓄エネ」に力を入れ、家庭から排出される温室効果ガスの削減を進めていく。そのためには市民に知っていただき活用していただく必要がある。																																																								
視察概要及び評価	<p>◇ゼロカーボンに向けた市民への取組</p> <p><再エネ対策></p> <p>○省エネ家電等設置費補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象機器・交付件数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>エアコン</td> <td>503</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>エアコン</td> <td>150</td> <td>2,986千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>エアコン、 冷蔵庫、給湯器</td> <td>2,235</td> <td>43,908千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>*令和5年度 補助対象機器を増やしたことにより件数・額ともに一気に増加している。</p> <p>○再生可能エネルギー利用機器設置費補助制度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象機器・交付件数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">令和3年度</td> <td>太陽光発電</td> <td>70</td> <td rowspan="5">8,906千円</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>木質ペレットストーブ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>HEMS</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>蓄電池</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">令和4年度</td> <td>太陽光発電</td> <td>77</td> <td rowspan="5">9,439千円</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>木質ペレットストーブ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>HEMS</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>蓄電池</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">令和5年度</td> <td>太陽光発電</td> <td>111</td> <td rowspan="5">9,533千円</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>木質ペレットストーブ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>HEMS</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>蓄電池</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> <p>*令和5年度 蓄電池の件数が前年比倍以上となっている。</p> <p><その他></p> <p>暑さ対策推進補助制度(外付け日よけ)</p> <p>R4 19件 448千円</p> <p>R5 9件 207千円</p> <p>*建物に固定することが条件。設置者からはおおむね好評。</p> <p>置き配バッグ配布事業</p> <p>在住者を対象としてバッグ10,000個を無料配布</p> <p>*応募者多数で抽選となった。</p> <p>*再配達回数を減らすことと商品を知ってもらう機会をつくり、市民の認知を高め活用してもらうのが狙い。</p>			年度	対象機器・交付件数	補助額	令和3年度	エアコン	503	10,000千円	令和4年度	エアコン	150	2,986千円	令和5年度	エアコン、 冷蔵庫、給湯器	2,235	43,908千円	年度	対象機器・交付件数	補助額	令和3年度	太陽光発電	70	8,906千円	太陽熱利用	6	木質ペレットストーブ	—	HEMS	35	蓄電池	40	令和4年度	太陽光発電	77	9,439千円	太陽熱利用	3	木質ペレットストーブ	2	HEMS	37	蓄電池	41	令和5年度	太陽光発電	111	9,533千円	太陽熱利用	2	木質ペレットストーブ	3	HEMS	11	蓄電池	97
	年度	対象機器・交付件数	補助額																																																						
令和3年度	エアコン	503	10,000千円																																																						
令和4年度	エアコン	150	2,986千円																																																						
令和5年度	エアコン、 冷蔵庫、給湯器	2,235	43,908千円																																																						
年度	対象機器・交付件数	補助額																																																							
令和3年度	太陽光発電	70	8,906千円																																																						
	太陽熱利用	6																																																							
	木質ペレットストーブ	—																																																							
	HEMS	35																																																							
	蓄電池	40																																																							
令和4年度	太陽光発電	77	9,439千円																																																						
	太陽熱利用	3																																																							
	木質ペレットストーブ	2																																																							
	HEMS	37																																																							
	蓄電池	41																																																							
令和5年度	太陽光発電	111	9,533千円																																																						
	太陽熱利用	2																																																							
	木質ペレットストーブ	3																																																							
	HEMS	11																																																							
	蓄電池	97																																																							
 <p>説明していただいた高橋副課長</p>  <p>置き配バッグの見本 普段は折りたたんで ドアノブにかけてある。</p>																																																									



環境配慮型住まいモデル事業

市営住宅跡地にハウスメーカーが環境配慮型住宅を建設し販売

* 建売住宅に太陽光発電や蓄電池などの設備を増やすと販売価格も上昇し1億円を超える物件もある。

◇ゼロカーボンに向けた市の率先行動の取組

<再生可能エネルギー設備導入>

太陽光発電 → 約683kw

太陽光路面発電パネル設置 → JR八王子駅南口、交通公園

バイオマス発電 → 7,040kw

ごみ発電電力の地産地消 → 9つの小中学校、学校給食センターへ供給

LED化 → 公共施設90%、道路照明19,500基

◇主な質疑

Q 蓄電池の件数が増えている理由は？

A 太陽光発電と同時設置を前提としている。災害時に自宅避難できるように市民の意識が変わったのではないかと考えている。

Q 置き配バック事業のきっかけと配布数を1万個とした理由は？

A 2024問題を意識して再配達削減を狙った。配布数は、他市を参考にして市民の意識行動の変容を狙った。

Q EVやPHVへの補助はしているのか？

A 現在取り組めていない。化石燃料から電気を作っていることも考慮している。

Q 外付け日よけの補助要件と効果は？

A 建物に固定することが条件。すだれなどは対象外。エアコンの効率が30%向上する。利用者からは好評を得ている。

Q 環境配慮型住まいモデル事業の詳細は？

A 市営住宅跡地をハウスメーカーに売却して太陽光発電・蓄電池・断熱を設備した住宅を建売住宅として販売する。設備内容によって1億円を超える物件もあるが購入する方はいると聞いている。



【三宅】八王子市地球温暖化対策地域推進計画には温室効果ガスの排出量を2030年度に2013年度比46%減、2050年度に実質ゼロを目標として掲げている。この目標達成のための施策として家庭分野における施策を展開している。エアコンなどの省エネ家電等設置費補助制度や太陽光発電などの再生可能エネルギー利用機器等設置費補助制度の定番ともいえる制度の他に外付け日よけ設置への補助や置き配バック配布事業、さらには市営住宅跡地に環境配慮型住まいモデル事業を展開していることは新たな発想であると感じた。家庭から排出される温室効果ガスの削減が喫緊の課題であることから従来制度に加えて、斬新な制度を創設することで市民の選択肢を増やしていく必要性を感じた。地域性や市民の生活スタイルも考慮に入れながら制度の拡充を考えていきたい。

【井町】

地球温暖化対策事業として、本市との発想の違いに興味を持った。例えば本市では宅配ボックス設置に補助金を出したが、八王子市では宅配バッグを1万個無償配布とした。住宅事情の差と考えるが、本市でもバッグでも良かったのではないかと考えるし、1万個という規模の大きさから市民の意識醸成に効果的であると感じた。また、エアコンの省エネ対策として日よけの設置に対しての補助メニューもあり、こちらの『窓にフィルムを貼る』提案にも可能性がある考えを示されたため、岡崎市でもその可能性があると感じた。

海外ではベランダやテラスに太陽光パネルを設置することが加速しており、

本市への反映
(意見・課題など)

賃貸住宅でも可能な温暖化対策であることから、他市の良い事例を岡崎市にも取り入れてもらいたいし、提案していきたい。

【佐藤】

八王子市では地球温暖化対策として、市民の環境意識の醸成や地域に見合った取組を実施していることは大いに参考になった。例えば置き配バッグを配布事業については、マンション等の集合住宅が多い地域であることを踏まえたものであることや置き配バッグが安価であることから1万人の配布を実現したことなどがあげられる。

岡崎市においても様々な取組を実施しているが、より多くの市民を対象とした事業により、省エネに対する意識の啓発や環境意識の醸成に繋げていくことも大切な取組だと感じた。

	<p>とから、経済的な恩恵を受けることが出来た。</p> <p>2. 視察中のQ&A（一部抜粋）</p> <p>Q：ワールドを作る予算は？</p> <p>A：予算は約4,500万円、国の補助金を活用している。 ランニングコストとして、サーバー保守費など維持費は必要。</p> <p>Q：メタバースの世界でも商売が成り立つと思うが、無償アイテムの費用は市が負担しているという事か？</p> <p>A：製作をクリエイターに依頼し、その製作費は市が負担している。（一般のクリエイターで販売する人もいる）今後有料になるのかという問い合わせをいただくこともあるが、考えていない。</p> <p>Q：イベントの周知はどのように行っているのか？</p> <p>A：公式XでPRするほか、メタバースワールドの中でポスターを設置したり、動画を流したりしている。言語は日本語オンリーの時もあるし、日本語と英語を併用するときもある。</p> <p>Q：企業とのコラボ、市内クリエイターの活用など上手くできたコツは？</p> <p>A：BEAMSとはスカジャンつながりで、上手くコラボすることが出来た。また、市内にマクロスなどのデザインに関与されたメカニックデザイナーの宮武一貴氏が在住しており、みかさロボをデザインいただくなど協力してもらえた。市の仕事として繋げていくことや、何をかけ合わせていくかを考え、上手くいっている。</p>
<p>本市への反映 (意見・課題など)</p>	<p>井町：メタバースを活用した魅力発信、観光PRは今後伸びていく方法ではないかと考える。また、コラボ企画を成功させることで、その効果を大きくしており、市内経済にも良い影響を残している。岡崎市にも有名人が多数いるため、メタバースの世界を活用した有名人とのコラボや、企業とのコラボについても考えていくことの有効性を感じたし、提案もしていきたいと思っている。</p> <p>佐藤：横須賀市のメタバースの取組は、魅力の発信や観光PRのみならず、現実と連動させることで、その効果を高めている点は大いに参考になった。具体的には横須賀美術館コラボでは、メタバース内に三笠を变形させたロボを出演させ、美術館ではその原画を展示した。他にも市内の事業主とコラボにより、魅力の発信から現実への誘導に取り組んでいるとのことだった。</p> <p>趣味が多様化している現代社会において、様々な手法で魅力の発信に努めていくことは、意義のある取組だと感じた。また、横須賀市では、新しいコンテンツを定期的に導入しており、新規の訪問者開拓や継続的な訪問者の確保に努めていることから、岡崎市において検討する場合には長期的なスパンで計画的に実施する必要があると感じた。</p>



説明いただいた、横須賀市文化スポーツ観光部観光課 久水様 と